



한청통신

韓 青 通 信

2008年9月号

今号のラインナップ：東西でサマーキャンプ 2008 を開催 / 国際平和通信使、第三回民族文化学校を国内青年とともに開催 / 民族文化学校参加者感想文 / 国内の 8.15 行事参加レポート / 情勢 NEWS「同時行動原則」に違反しているのは誰か？ / 全国活動報告 / 支部紹介「日々是はんちゃんー京都南支部」 / 今後の活動予定 / 編集後記

東西で同胞青年が集い、夏期講習会を開催！



韓青では7月25日から27日、「統一新時代！民族とともに！祖国とともに！」をテーマに「サマーキャンプ 2008 - 第42回韓青全国統一夏期講習会」を東日本は愛知県・伊良湖海水浴場で、西日本は滋賀県・びわ湖和邇浜水泳場で開催しました。

恒例でもあるキャンプの魅力といえ、やはり日常では味わえない民族マダンを体全体で実感し、同世代とともに民族・祖国の関わりを考えられることでしょう。新参加者らが中心となるAグループでは、西日本で「しゃべり場・大討論会」、講演「ともに民族的に生きよう！」が行われ、東日本では講演「民族的に生きるとは」、「日本が韓国にしたこと・在日韓国人の現状」があり、東西問わず参加者らは在日同胞の歴史的背景や現状に、大きな関心を示していました。班別討論でも「私たちにとっての名前って？」、「民族的に生きるって？」などを積極的に話し合いながら、民族との関わりを深めることができたようです。

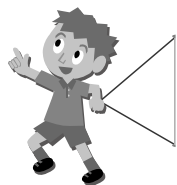
また東日本では支常委中心のBグループで、講演「WHAT'S 韓青の支部活動」、班員からの発題「私の本部・支部の未来予想図」が行われ、参加者らは経験交流を通して、支部活動の意義を共有しました。

一方砂浜では、班対抗のレクリエーションで参加者らは大はしゃぎ！夜には肝試しに花火大会などを楽しみました。また西日本では民族文化体験としてペンイ（韓国のコマ）遊びも行いました。

メイン行事である二日目夜の「韓青文化マダン」では各班の寸劇発表が大好評(?) また文化発表では西日本で大阪本部のサムルノリ、京都本部のタルチュム、兵庫県本部のブンムル、東日本では神奈川県本部のカヤグム、東京本部のアンサンブル、三重県本部のサムルノリ、愛知県本部のブンムルが披露され、高い技術には喝采の拍手が、初々しい出演者には惜しめない激励に声があふれました。

閉会式では参加者らが再会を誓い合うなど、今年も有意義な民族マダンとなりました。(明)





2008 国際平和通信使 & 第三回民族文化学校



期待に胸を膨らませる参加者たち



国内学生とのディスカッション



ソウルの歴史フィールドワーク



最後にみんなでスゴヘッスムニダ

この夏は韓青にとって、国内と在日の青年学生が互いに日本と祖国を行き来しながら、アツイ交流を重ねる期間となりました。韓国のNPO法人「青年統一文化センター・プルンコンガム」が主催する「2008 国際平和通信使」と「第三回民族文化学校」が8月の上旬・下旬にそれぞれ行われ、韓青は学生協の仲間とともに参加しました。

まず、6日から9日、関西地方で「2008 国際平和通信使」が行われ、韓青・学生協をはじめ、留学同大阪府本部、そして日本人の学生など、さまざまな立場の青年学生が多数参加しました。

国際平和通信使では、フィールドワークと講演、そして討論会を中心に進行されました。大阪市内のピースおおさか、大阪陸軍砲兵工廠跡地の大阪城公園、大阪協和会館跡地（旧韓青大阪本部）、生駒トンネルなどを探訪し、討論会では、韓国・日本・在日の立場から「平和」について意見交換し、相互理解を深めることができました。在日同胞への知識・認識があまりなかった、韓国の同胞学生たちは、在日同胞学生が日本でも民族的に生きようと努力する姿に感銘を受けていました。

ついで、20日から5日間の日程で、韓国・ソウルで「第三回民族文化学校」が開催され、韓青・学生協から多く参加しました。現地では留学中の韓青の仲間たちや、国際平和通信使に参加していた学生を含めた多くの韓国人学生と民族文化学校の運営スタッフたちが出迎えてくれました。5日間の日程ではソウルのあちこちにある日帝植民地時代や独裁政権時代の史跡地めぐりや、韓国の労働運動の原点となった全泰堯氏のご家族との面会など、祖国の様々な歴史を学びながらフィールドワークなどを行いました。

期間中、多くの韓国人学生との交流を行うことができ、ウリマルを一生懸命に使いながら、参加メンバーは交流を大いに楽しみました。今回の民族文化学校によって韓青・学生協メンバーは、ウリマルやウリナラの歴史を学習する意欲向上につながったと感想を口をそろえて述べていました。

両行事とも在日同胞、本国同胞共に自身を祖国と民族と結び付け、希望に満ちた新しい未来を創造する良い機会となりました。（竜）

韓青現役のみなさん！
今年の夏期闘争、スゴヘッスムニダ！

李 勇 熙

※7月18日に長女（李世理）が誕生しました！

トンイル

1970-77 韓青広島県本部委員長

韓統連副議長 郭 秀 鎬

「民族文化学校が原動力に」

兵庫県本部 尼崎支部 キム・ナミ



←左ガナミさん

私は韓青・学生協の仲間たちと「民族文化学校」に参加しました。参加するにあたって、この「民族文化学校」の内容がほとんどわからないまま当日に臨み、正直、不安でいっぱいでした。わかっていたことというと、現地の学生と交流があるということ、歴史を学べるということ、そして夜はドンチャン騒ぎで中々寝られないということだけでした。

そういった気持ちの中で「民族文化学校」が始まり、現地の学生と対面しましたが、彼らのすさまじいパワーと元気に圧倒され、みんなが縮こまっていました。班ごとの行動では、班の仲間たちとの自己紹介などがありましたが、私はウリマルをあまり話せないし、どうすればいいのかわからず、「もう帰りたい！！」と思ってしまいました。

そしてフィールドワークが始まりました。韓国も日本と同様の気温で、お昼は本当に暑かったので、たどたどしいウリマルを使って「暑い～」とか「しんどい～」などを連呼していると、国内の学生も思っていることは同じでした。ちょっとしたことから会話が始まり、いつの間にか仲良くなっていきました。私はこのことがすごく素晴らしいことだと思いました。大人になればこんな出会いなんて限られているし、すぐには仲良くなることはできないと思います。しかし私たちは元々お互いの事に興味があり、また理解したいという気持ちで参加しています。だから純粋な気持ちで接することができ、すぐに打ち解けることができたのでしょう。

私が国内の学生と4日間過ごしてきた中で、特に印象に残っていることがあります。それは韓国の学生は歴史・文化・政治のことにすごく関心があるということです。例えばフィールドワークの時、ガイドさんの説明をいつも真剣に聞いており、また一生懸命学ぼうとする姿勢が目立ちました。また聞くだけではなく、しっかりとした意見が言えます。しかし在日の仲間たちを含め日本で育った私たちは大抵引込み思案で、自己主張があまりできないように思います。そういった点で私や在日の仲間たちは、まだまだ子どものように感じました。

最後に私はこの民族文化学校を通して、やはり言葉（ウリマル）の重要さに気づきました。今回出会えた人々と仲良くなることはできましたが、あまり自分の意見を主張できていなかったように思います。せっかく在日韓国人として生まれたのに、ウリマルを話せないということは本当に恥ずかしことだと思うし、何より自分自身が悔しかったです。それを実際に経験したコトで本気でウリマルを勉強しようと思ったのでした。来年の「民族文化学校」には、ウリマルを流ちょうに話せていることが私の新たな目標です。

今回の経験は私にすごく影響を与えてくれたし、自分自身のことについて深く考えるきっかけになりました。そういったたくさんのお土産を持ち帰ることができ本当に感謝しています。ヨロブシ コマスムニダ！

炭火焼肉・韓国酒家

ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

OREA REPORT Candle

8・15レポート

国内の8・15行事に直接参加してきた
盟員から、キャンドル集会の100日目
でもあった当日の様子のレポートをお
伝えます。

大阪府本部 布施支部 コ・フィジ



「ソウルに来たら、8・15の集会と一緒に参加しよう!!」国際平和通信使で出会った、国内の仲間たちに言われ、「はい、絶対参加します!!」と、はりきって返事をした私。

数日間、南部祖国での旅行を楽しんだ後、ついに8・15集会を見ることになりました。

集会をする場所周辺では、朝早くから交通規制がかかっていました。タクシーに乗って集会会場に行こうと思いましたが、どの道も規制が厳しくて近づけず、会場の近くでは、すでに学生たちが警官に囲まれながらデモを行っていました。

途中で韓青の仲間数人と合流し、いよいよ集会が行われている公園へ。途中、李明博政権に反対する凄惨なデモ隊に遭遇。それだけで圧倒されそうな私たち。集会が行われている公園はもっと凄惨になっていました。雨が降る中、公園全体を埋め尽くすほどの人たちが、曲が流れると同時に、会場全体で一緒に歌いはじめ、律動をする学生や、統一旗を持つ子どもがいて、まさに、子どもから高齢者までが祖国の統一を願い、また李明博政権に対する怒りを持って一つになっていました。(その日はちょうどキャンドルデモ100回目でした)

自分も含めこれだけ多くの人が統一を願っているのだから、統一は絶対しなければならないと

改めて感じましたが、半面悲しい気持ちにもなりました。今回の行事は「参加」ではなく「見学」だったからです。知っている曲、律動があっても、見ているだけでした。

今回の行事は見学だけになり、残念な部分もありましたが、私たちの思いはここに参加しているみんなと一緒にですよ!!と改めて感じるものとなりました。

最後に・・・

といいつつ、舞台上の見事な律動や歌を見ていると、自分たちは律動をしなくてよかった、と思いました。そのまま律動をしていたら、あまりの悪さに、韓青の名を汚していたところだったでしょう(笑)





情勢NEWS

＜‘同時行動原則’に

違反しているのは誰か？＞

朝米関係がふたたびこう着状態に陥っている。これまで順調に進められてきた核施設の無能力化を、朝鮮民主主義人民共和国(以下、北朝鮮)が中断すると8月25日に明らかにした。日本のマスコミは、「北朝鮮の駆け引きに乗るな(読売新聞 8/28 付社説)」

「約束を果たすべきなのは、あくまで北朝鮮(毎日新聞 8/28 付社説)」「いつもの駆け引き(産経新聞 8/27 付)」と、北朝鮮が合意事項の履行違反を犯していると一緒に報じた。いつもながら日本のマスコミは、物事を一面的にしか見ていないようだ。とくに北朝鮮関連になると、‘偏見’というフィルターを通してしか見ないため、コトの本質がさっぱり理解できないようだ。

朝米関係が順調に進展するかしないかのバロメーターは、これまでの6者協議の経過を見れば明らかだ。それは『約束対約束、行動対行動』の同時行動原則だ。同時行動原則が守られれば朝米関係は進展し、守られなければ進展しないという、極めて単純明快なものである。

現在、6者協議は第二段階措置の最終段階に到達している。第二段階措置の具体的な内容は、昨年10月3日に発表された文書に明確に示された。そこには、北朝鮮がとるべき義務として、①既存の核施設の無能力化、②核計画の完全かつ正確な申告、③核



北朝鮮の核施設を査察する米国の専門家



テロ支援国家指定解除の声明を発表するブッシュ大統領

移転しないとの約束、そしてアメリカのとるべき義務として、△朝米間の関係を改善するため、テロ支援国家指定の解除と対敵通商法の適用終了—と定めてある。この合意に基づき、北朝鮮はさる6月26日に6者協議議長国の中国に対して核計画の申告を提出した。またその1ヵ月半前の5月10日には、訪朝していた米国務省のソン・キム課長(現、北朝鮮特使)は、北朝鮮から核施設の稼動日誌など18,000ページに及ぶ膨大な関連資料を受け取り、ワシントンに持ち帰っている。この資料は、「寧辺原子炉および核燃料再処理工場の運営と生産に関する日誌であり、1986年以降の実態を把握できる完全な資料」(5月13日、ソン・キム課長)と評価されており、現在、アメリカがあたかも‘正式に合意された前提条件’のように持ち出している‘検証’は、その時点で解決しているのである。だからこそ、ブッシュ米大統領がテロ支援国家指定解除と対敵通商法の適用終了を議会に通報(6/26)したのではない。こうして見ると、北朝鮮は6者協議の合意に沿って自らの義務を履行しており、アメリカが合意以外の条件を持ち出して自らの義務を履行していないことが分かる。

朝鮮半島の非核化を実現し、北東アジアにおける恒久的な平和と安定に向けて歩みつつけるのか、これまでの努力を水泡に帰するかは、依然として‘時間のない’ブッシュ政権が同時行動原則を誠実に守るか否かにかかっていると言える。(9/6付、銚)

活動紹介

第15回統一マダン東京

「朝鮮半島の統一、民族の和解、平和なアジア、差別のない社会へ」をスローガンに8月3日、第15回統一マダン東京が都内荒川区の旧真土小学校で開かれました。

今回の統一マダンでは、「北側オリニ（子ども）栄養パン工場事業本部」の広報大使である権海孝（クォン・ヘヒョ、冬ソナの金次長役）さんがゲスト出演することなどもあり、リハーサルのあいだにも続々と観客が詰めかけて会場を埋めました。ステージでは、民族舞踊やテコンドー演武などの民族文化が披露され、メインゲストの権海孝さんのトークショーや韓青OGで在日民衆歌手の李政美さんのコンサートにより会場の雰囲気は最高潮に達していきました。韓青東京は学生協とともにノレアンサンブル「歴史とのつながりを胸に」を発表して、会場全体は大きな感動で一つになりました。（崇）



8・15 行事を各地で開催

光復節 63 周年を迎え、日本の各地で「6・15、10・4 宣言を支持し、『10・4 宣言 1 周年記念の集い』を成功させよう！光復節 63 周年記念 地域同胞の集い」が開催されました。

集いでは、私たちを取り巻く朝鮮半島や世界の情勢を確認し、10月26日に予定されている「10・4 宣言 1 周年記念の集い」を成功させるため、各地でたくさんの在日同胞が集いました。大阪では、第2回南北首脳会談や、韓国での李明博政権に対する民衆たちの闘いの映像を見た後、孫亨根韓統連副議長の情勢報告を受け、活発な質疑応答が続きました。各集会の最後には、南北海外で採択された 6・15 民族共同委員会の共同声明が朗読されました。（麻）



Pick up

- 7/19（土）に東京で「6・15 共同宣言、10・4 宣言固守実践！南側青年学生と同胞たちのキャンドルデモを支持・連帯する、在日同胞青年学生代表たちの集い」を韓青、朝青、留学同で共催
- 8/8（金）に東京で「北京オリンピック南北代表チーム 在日コリアンユース 東京合同応援イベント」を韓青東京、朝青東京で共催
- 8/10（日）に「慰安婦 決議に応え 今こそ真の解決を！関西フォーラム ～被害者に名誉と尊厳をー戦時性暴力の根絶のために～」に参加

かんふうどう

康復堂 平山鍼灸治療院

〒984-0057

仙台市若林区三百人町179

Tel/fax 022-291-0064

E-mail nicakumi@m9.dion.ne.jp

鍼灸師

申 孝 信

韓青の活躍を函館から応援します。

権 龍 夫

金 和 美

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.2 京都府本部 南支部

韓青通信をごらんの皆様アンニョンハセヨ？今回は、京都府本部南支部の紹介をさせていただきます。にぎやかな南支部の様子を想像しながらご覧になってください。

☆平均年齢なんと！



現在、韓青京都には多くの同胞青年が集っていますが、その平均年齢はなんと 22 歳！！韓青全国の平均と比べても、結構若いんじゃないでしょうか。年齢が示すとおり、みんなやんちゃ坊主/娘なので、とっても元気です。ウリマルやセミナーでも、いつもワイワイにぎやかです。でも時には度を過ぎて先輩たちに怒られることもしばしば……。そんなこんなで南支部はいつも笑顔と笑いにあふれた在日同胞青年の憩いの場として存在しています。

☆豊富な学習資料！

南支部には映像や書籍などの資料が豊富にそろえてあります。書籍はウリマルやウリ歴史関連などはもちろん、ウリマルの漫画なども取り揃えてあります。映像は過去のキャンプや統一マダンを記録したもの、祖国での闘争や着々と進む統一事業を記録したものなどがあります。これらの資料を活用して充実したウリマル学習会や、セミナーが開催されるわけです。



また、キャンプ等での文化披露の練習の際には、よく過去に先輩たちが演じておられた映像等を参考にします。南支部の文化に対する貪欲な欲求は先輩譲りのものと言えますね。

このように南支部は盟員たちがしっかりと学べる環境をいつでも整えています。でも、みんな最近本読んでないような……。漫画だけじゃなくって、もっとたくさん本を読もうね。(怒)

☆充実した日常活動

南支部では毎週水曜日にウリマル学習会と、定期的に青年セミナー(学習会)を開催しています。

特に韓国の青年団体、京畿青協(京畿道青年団体協議会)との姉妹結縁事業が功を奏したのか、みんなウリマルに対する学習意欲は非常に高く、熱心に学習をしています(マイペースに)。自分の想いをウリマルではっきりと口にする日を夢見て、みんな頑張っています！

歴史や情勢もセミナーで楽しく、しっかりと学んでいます。でもみんなが一番楽しみにしているのは活動後のハンジャン(一杯)かも。

同胞青年同士、みんなワイワイ色んな話をしながら飲むお酒は格別です！いつのまにか日をまたいで、そのまま朝まで……。というコトもよくあることです。このように南支部では盟員みんなで日常活動を存分に楽しんでいます。



韓青京都南支部はいつでも同胞青年が立ち寄ることの出来る、笑い声にあふれたすてきな憩いの場です。京都にお立ちよりの際は、アットホームで楽しい南支部に是非顔を出してみてくださいね。(竜)

今後の活動予定

알림판

알림판

알림판

알림판

알림판

10・4宣言1周年記念の集い「統一・平和・和解」

日 程:2008年10月26日(日) 13:00開場 13:30開始

場 所:東京・社会文化会館(三宅坂ホール)

内 容:オープニング、あいさつ、パン工場事業紹介、文化公演、フィナーレ など

参加費:500円

主 催:韓統連、韓青、民主女性会、学生協

韓青全国スノーフェスティバル2009 ～統一新時代!祖国とともに、民族とともに～

日 程:2009年2月6日(金)～8日(日) 場所:岐阜県・飛騨乗鞍高原

内 容:開会式、ゲレンデ企画、スキー、ディスカッション、レクリエーション、韓青文化マダン、閉会式 など

参加費:一般17,800円、高校生14,800円 ※盟員登録者以外は2,000円UP

PICK UP!

学びの秋がやってきた!

全国で開催! 秋期ウリマル教室開講式

＜2008年度 秋期開講式日程＞

地域	開催日程・場所
東京	11/9(日)各支部(足立・荒川・葛飾)で
神奈川	11/5(水)横浜 11/10(月)川崎
愛知	11/2(日)
三重	11/2(日)
京都	11/12(水)各支部(南・右京)で
大阪	10/22(水)各支部(北大阪・生野北・布施)で
兵庫	11/10(月)尼崎 11/12(水)西神戸
広島	随時募集中

韓青では、10代後半～20代の朝鮮半島にルーツを持つ青年を対象に韓国語教室を開催しています。韓国籍や朝鮮籍・日本籍など国籍は問いません。「朝鮮半島にルーツを持つ方」であれば、だれでも大歓迎です。もちろん、ダブルの方も大歓迎です。

授業は、受講生の実力に合わせたクラス編成をしていますので、初心者から経験者まで安心!アットホームな私たちの教室に、参加してみませんか?

全国の韓青ウリマル教室のお問い合わせはこちらへ→ 0120-734-101 (フリーダイヤル)

【お詫びと訂正】前号6ページ目の賛助広告において重大な誤りがありました。大阪でご活躍をされた後、東京でも荒川支部の委員長を歴任され、現在は函館で民族活動が続けいらっしゃる金和美先輩の表記を、誤って「李和美」と表記してしまいました。正しくは言うまでもなく「金和美」でありました。重ねて深くお詫びを申し上げながら訂正させていただきます。

編・集・後・記



いつの間にやら、暑い暑い夏が終わろうとしていますね。最近夜はめっきり涼しくなり、我が家のエアコンも、夏の激務を終えシーズンオフに入りつつあります。

今年の夏は、韓青・学生協のメンバーが国内の青年学生たちと活発に交流しました。祖国を自由に行き来し、在日の学生たちがたくさん刺激を受けて、日本に帰ってきてからウリマルを必死に勉強する。こんな「当たり前のこと」を今後も「当たり前」として守っていかなければいけないな、と思います。

さて。秋はいよいよ10.26集会です。大結集に向けて、たくさん食べましょう。なんといっても、食欲の秋。。。(俊)

「韓青通信(ハンチョンツウシン)」 2008年9月15日発行(隔月15日発行) 発行:在日韓国青年同盟 中央本部

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-8-8 弥助ビル 2F TEL. 03-5823-0815 FAX. 03-3851-0815

Website: <http://www.han-chung.com/> E-mail: chuo@han-chung.com 郵便振替: 001606-6-351003 (在日韓国青年同盟)